

## 文化庁委託事業

ndjc : 若手映画作家育成プロジェクト 2009

### 募集案内

—問い合わせ先—

ndjc事務局／担当 南、白米、田中<sup>しらよね</sup>

〒104-0045

東京都中央区築地4-1-1東劇ビル8F NPO法人映像産業振興機構（VIPO）内

TEL : 03-3543-7532 / FAX : 03-3543-7533

E-mail : vipoinfo@vipo.or.jp

HP : <http://www.vipo-ndjc.jp>

募集案内、提出書類様式については、ndjcホームページでダウンロードできます。

はじめに

このプロジェクトは、平成18年度から文化庁より委託を受け映像産業振興機構（VIPO）が実施しているもので、在野の優れた若手映画作家の発掘と育成を行い、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップを実施すると同時に、新たな才能の発掘を目的とした作品発表の場を提供することで、将来を担う優れた長編映画作家を育成することをもって、日本映画の活性化を目指しています。

今年度のプロジェクトでは、最初の1ヶ月で模擬撮影を中心としたワークショップを行ったあと、35ミリフィルムによる製作実地研修を行うこととしています。

つきましては、今年度も、募集案内のとおり作家を募集いたしますので、ふるってご応募ください。募集人数は15名程度とし、その中から、これまでの実績やワークショップでの成果などを勘案し、製作実地研修に進むことができる5作家を決定します。なお、それぞれの作家の決定にあたっては、有識者による選定委員により審査を行います。

応募は、ガイドラインに沿った団体を経由することとなっておりますので、案内をご参照ください。

（募集案内の内容）

- I. プロジェクト参加希望者のみなさんへ
- II. 作家の推薦をおこなう団体のみなさんへ～事業参加者推薦に関するガイドライン～
- III. 申込書 様式①  
様式②  
様式③  
様式④

## I. プロジェクト参加希望者のみなさんへ

### 1. 実施概要

すでに相応の映像製作実績と評価を有する若手映画作家を対象としてワークショップを実施します。さらに、ワークショップ参加者の中から、映画製作の現地研修を行う作家を決定します。完成した作品に関しては、映画製作関係者等に対する上映会など各種プロモーション活動を行います。

### 2. 応募資格

- (1) 原則として日本国籍を有する者又は日本の永住資格を有する者。学生は除く。
- (2) プロ・アマ不問。ただし、過去に商業用長編映画の監督経験がある者、および監督予定の者は除く。
- (3) 過去に、当プロジェクトにおいて製作現地研修を行ったことのある者は除く。
- (4) 当プロジェクト参加者は、以下のいずれかに該当することとし、応募の際は、各団体等が推薦をおこなうこととする。

①映画祭等で入選等の実績がある者

②商業映像等、映像製作分野での優秀な実務実績のある者（助監督、CMディレクター等も可）

- (5) 応募時は、①入選等の実績を証明するものやこれまでに製作した（(4) ②に該当する者は、製作に携わった作品を含む）映像等、②製作現地研修で制作予定の作品の脚本（もしくはそれに準じるもの）を提出できること。

なお、製作現地研修は、35ミリフィルムで撮影を行うこととする。制作作品はストーリーのあるオリジナルの実写映画に限定し、上映時間はクレジット等全てを含め25分以上30分以内とする。脚本は、参加作家自身が執筆することとする（ただし、場合によっては共同脚本も認める）。

### 3. 応募締切

応募書類は、推薦団体より提出いただきます。

当事務局で設定している締切は以下のとおりですが、詳細は推薦団体の指示に従ってください。

(1) 推薦する作家の有無の連絡：平成21年6月22日（月）17：00まで

(2) 応募書類の提出：平成21年6月26日（金）12：00まで【必着】

#### 4. スケジュール（予定）

ワークショップ受講者発表	平成21年7月中旬
ワークショップ	平成21年7月下旬～8月中旬の10日間程度
製作実地研修者決定	平成21年8月下旬
製作実地研修	平成21年9月～平成22年1月
合評上映会	平成22年2月～3月

#### 5. 備 考

- (1) 当プロジェクトは、人材育成プロジェクトであり、参加者の作品の完成を保証するものではありません。
- (2) プロジェクトをとおして、交通費をはじめいかなる経費・報酬も支払われません。なお、交通費については、実施場所への移動距離にかかわらず同様の取扱となります。
- (3) 製作実地研修に当たっては、指定した期限内（合評上映会の前）に作品を完成させることとします。
- (4) 当プロジェクトにより製作した作品の著作権は当機構が有します。ただし、作家が独自に行う上映活動や続編・長編製作等のための利用を妨げるものではありません。
- (5) 製作作品、研修内容に関する情報について、主催者が当プロジェクトの趣旨にのっとり開示する場合があります。
- (6) 申込書等提出書類に記載された個人情報、参加資格審査にのみ使用しますが、ワークショップ及び製作実地研修参加作家の氏名・推薦団体名は公開しますので、あらかじめご了承ください。
- (7) 応募時の提出物については返却しませんので、あらかじめご了承ください。記載内容に関して照会することがありますので、必ず写しをとり、保管してください。
- (8) プロジェクト参加作家の審査等は、当機構内で公正に行われるものとします。なお、主催者及び事務局は審査基準・審査結果に関するお問い合わせには一切応じることはできません。
- (9) 応募にあたっては、2（4）にあるとおり団体等の推薦が必要です。推薦が可能な団体等について「Ⅱ. 作家の推薦をおこなう団体のみなさんへ」を参照の上、自身とかわりのある団体等に相談してください。推薦団体が見つからない場合は、当プロジェクト問い合わせ先までご連絡ください。
- (10) 応募にあたっては、2（5）で提出を求めている資料のほかに、推薦団体が別途資料の提出を求める場合があります。

## Ⅱ. 作家の推薦をおこなう団体のみなさんへ ～事業参加者推薦に関するガイドライン～

当プロジェクトは、文化庁、映像産業振興機構が行う人材育成の一環であり、また審査を公正に行う必要があるなどの観点から、以下のガイドラインに沿って作家を推薦することができる団体を審査しています。ガイドライン及び審査結果は、映像産業振興機構において、当プロジェクト参加者と利害関係のない検討委員に確認を受けることとしています。

作家の推薦を希望する場合には、当プロジェクト問い合わせ先までご連絡ください。

### 1. 映画祭、映画振興団体等、第三者支援型団体に関するガイドライン

当該団体のこれまでの活動が、映画・映像製作振興において、十分な社会的実績があること。具体的には、以下のいずれかに該当するものとします。

- 活動を扱う記事が商業媒体に掲載された経験があること。(自己負担によるもの、関連媒体によるものを除く)
- 過去の活動において、文化庁をはじめとする公的団体の後援、支援等を得た実績があること。
- 広く公募、告知を行う活動の場合には、十分な応募者があったこと。
- イベントを実施するもの場合は、継続して3回以上の実施実績があること。

### 2. 映像関連企業に関するガイドライン

当該企業の活動が、社会性を持ち、第三者からの認知を有すること。被推薦者の活動が、当該企業の活動と密接な関係を持っていること(雇用関係、作品出資、作品製作主体等)。

推薦の際には、当該企業から統括団体(日本映画製作者連盟、日本映画製作者協会等)に連絡をし、統括団体から推薦することとします。

### 3. 共通事項

被推薦者の製作実地研修時の育成管理は、制作団体を通じ実施します。制作団体には、作品プロデュースに関し適切な業務分担・指導を実施し、被推薦者との連絡・協議、映像産業振興機構との必要業務に対応する人的・金銭的余裕を有する団体を充てるものとします。

当該推薦団体が制作団体を兼ねることを希望する場合には、作家の推薦の際に申し出てください。

#### 4. 推薦団体の皆さまへのお願い

##### ○応募書類の提出

応募書類は、推薦団体よりご提出いただくこととしておりますので、皆さまにおかれましては、プロジェクト参加希望者から必要書類をとりまとめていただき、下記の期限までに事務局にご提出ください。また、円滑に手続きを進めるために、作家の推薦を行う場合は、書類提出に先行して、その旨を下記の期限までにご連絡ください。

(1) 推薦する作家の有無の連絡：平成21年6月22日（月）17：00まで

(2) 応募書類の提出：平成21年6月26日（金）12：00まで【必着】

##### ○連絡窓口

応募書類をご提出いただいたあと、製作実地研修参加作家の決定までは、事務局からの連絡は、原則として作家ではなく推薦団体の皆さまに差し上げます。推薦団体の皆さまにおかれましては、事務局からの連絡事項について、推薦した作家へのご連絡をお願いいたします。

## Ⅲ. 文化庁「若手映画作家育成プロジェクト2009」参加申込書

(氏名)

--

応募に必要な資料は以下のとおりです。そろっていることを確認の上、チェックをしてください。

様式①	<input type="checkbox"/>
様式②	<input type="checkbox"/>
様式③	<input type="checkbox"/>
様式④	<input type="checkbox"/>
入選等の実績を証明するもの、これまでに製作した映像	<input type="checkbox"/>
製作実地研修で製作予定の作品の脚本	<input type="checkbox"/>

映像資料がある場合は、以下を記入してください。  
 なお、映像資料は2点までとし、形式はDVDとします。

収録時間(分秒)	作品名	役割等	製作年月
			～
			～

その他参考資料等がもしあればその内容を記入してください

--

氏名	ふりがな _____ 印			写真貼付位置 上半身4cm×3cm  写真の裏面に氏名を記入のこと
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	職業		
生年月日	<input type="checkbox"/> 昭和 _____年 _____月 _____日 <input type="checkbox"/> 平成 _____年 _____月 _____日	所属団体	団体名	
年齢	_____歳 (平成21年6月1日現在)		所在地	
現住所	〒 _____ (国籍 _____)		電話 ..... 携帯電話 ..... FAX ..... eメールアドレス .....	
連絡の先他	〒 _____		電話 ..... FAX ..... eメールアドレス .....	

最終学歴	<input type="checkbox"/> 昭和 _____年 _____月 <input type="checkbox"/> 平成 _____年 _____月			
健康状態	<input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> やや不健康 <input type="checkbox"/> 不健康	既往歴	(最近5年以内のみ記入)	
配偶者	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	扶養家族	人	本制度への応募履歴 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 応募年度 _____
保護者	(応募者が未成年者の場合のみ記入) 氏名 _____ 印 _____ (自署)	現住所	〒 _____ 電話 _____ <input type="checkbox"/> 応募者本人と同居 <input type="checkbox"/> 応募者本人と別居(下欄に記入)	

推薦団体	
------	--





# 推 薦 書

平成 年 月 日

推薦団体及び代表者名

印  
(団体印及び代表者印)

候補者氏名

推薦理由

担当者連絡先

団体名		担当者氏名	
住所	〒	電話	.....
		FAX	.....
		eメールアドレス	